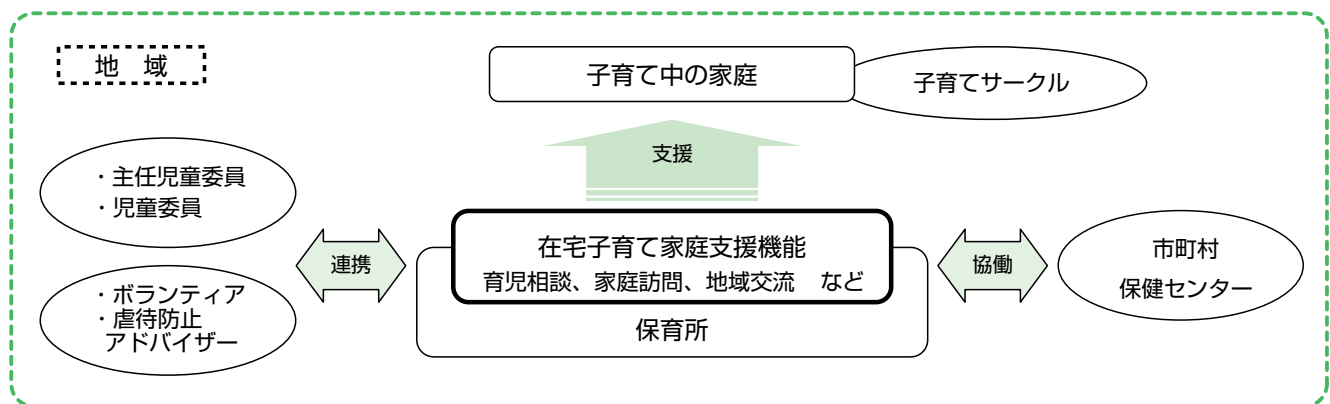
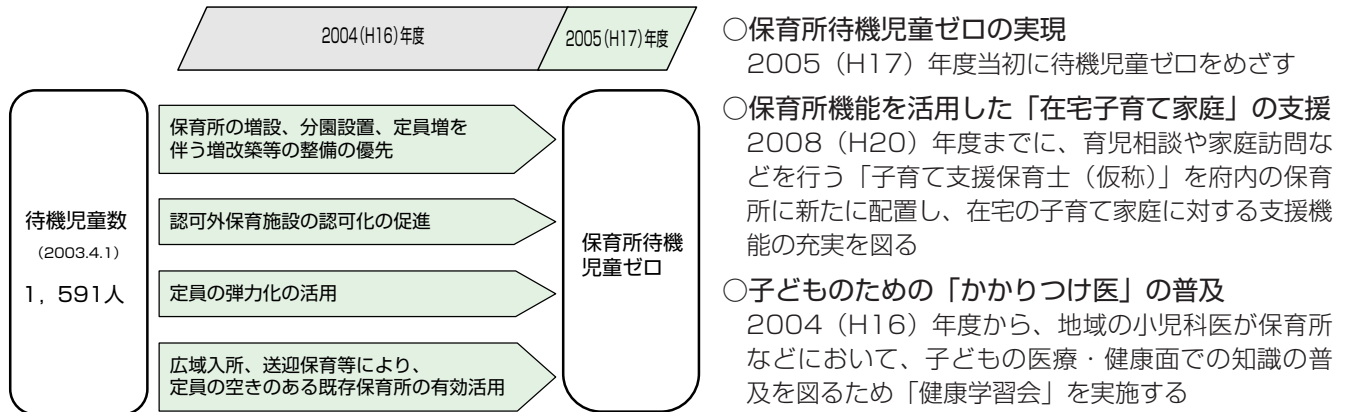


■ビルドアンドスクラップの3つの柱立て

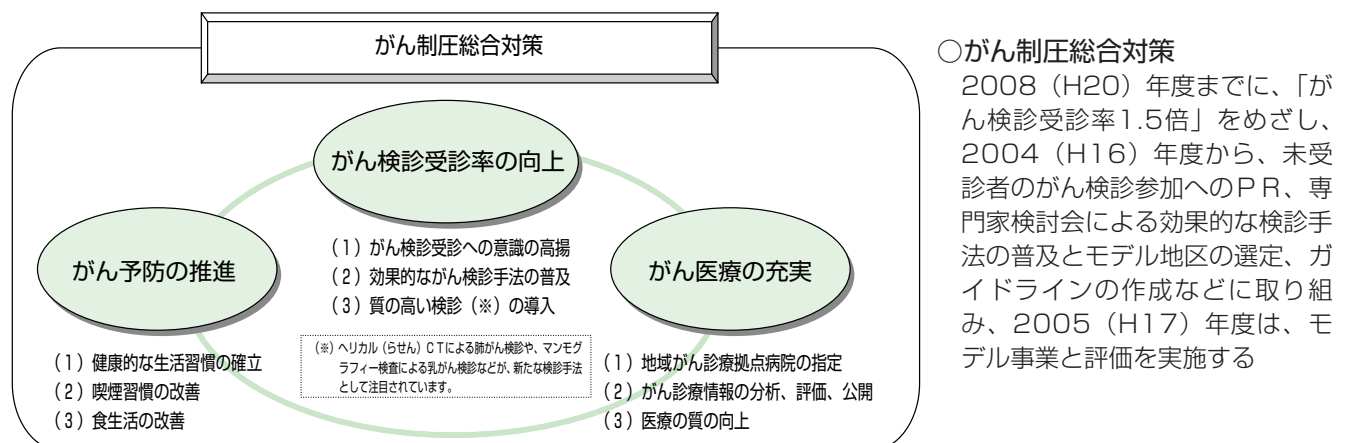
1 「子育て・子育て」をしっかりと応援します

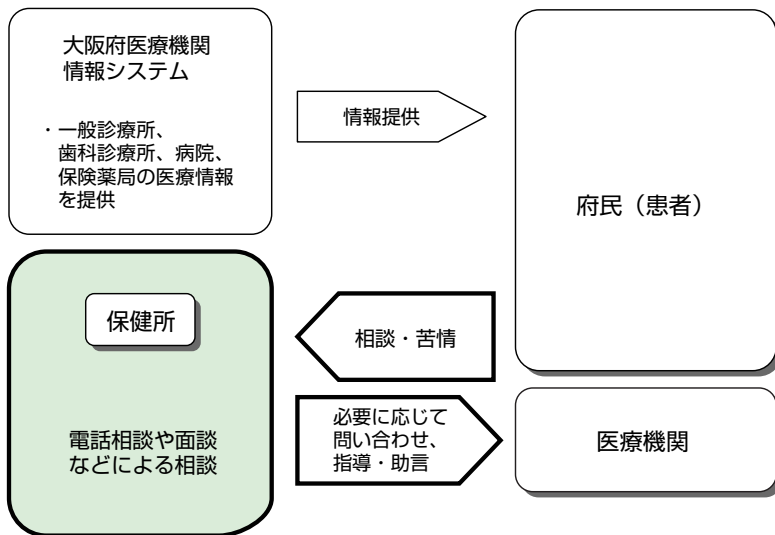
- ①「働く親の応援団」として、「保育所待機児童ゼロ」の実現をめざします。
- ②「子育て応援団」として、「在宅子育て家庭」支援に新たに取り組みます。
- ③「親の安心」確保に向け、夜間や休日でも安心できる小児救急医療に万全を期します。
- ④自閉症児や障害児など、援護を要する子どもと家庭を支援します。
- ⑤元気な子育てを「食育」などで応援します。



2 「健康づくり」をしっかりと応援します

- ⑥「健康づくり応援団」として、「がん死亡率ワーストワン」返上をめざします。
- ⑦府の広域性・専門性を一層発揮して、「健康危機管理」に取り組みます。
- ⑧よりきめ細かな医療機関情報の提供とあわせ、新たに医療に関する相談を受けます。
- ⑨高度リハビリテーション・障害者医療の新たな機能充実とあわせ、地域生活を支えるリハビリテーションを支援します。





- 「健康危機管理機能」等の強化
2004 (H16) 年度当初の保健所組織の再編に伴い、健康危機管理機能の強化、専門的相談・支援サービスの充実等
- 医療相談窓口の整備
2004 (H16) 年度から、地域においてが気軽に医療に関する相談や助言を受けられるよう、府保健所内に医療相談窓口を新たに整備するとともに、必要に応じ、医療機関への問い合わせや指導・助言等を行う
- 高度・専門的な障害者医療・リハビリテーションの充実
2007 (H19) 年度に、大阪府立病院（「急性期・総合医療C」）内に「障害者医療リハビリテーションC（仮称）」を設置する

3 「自立を求め人、援護を要する人」をきちんと支援します

- ⑩「地域の健康福祉セーフティネット」として、概ね中学校区単位で「見守り、発見や相談、つなぎ」などの役割を担う「いきいきネット」を新たにすすめます。
- ⑪「福祉で雇用やまちづくり」がすすむよう、コミュニティビジネスなど地域福祉を支える「民」の力を応援します。
- ⑫IT戦略や就労など、障害者や母子家庭などの自立と社会参加を応援します。
- ⑬市町村が地域の实情に即して健康福祉のサービスを選択実施できるよう、「総合メニュー補助方式」などで市町村の自主性を活かした健康福祉の取り組みを支援します。

○「コミュニティソーシャルワーク機能」の配置促進

2004 (H16) 年度から、府内中学校区 (276地区) を対象に順次「コミュニティソーシャルワーク機能」の配置促進を図る

○地域福祉支援・協働サイクルの整備

2003 (H15) 年度中に、「大阪府地域福祉サポーターズ倶楽部」を設置し、2004 (H16) 年度以降、地域福祉活動の担い手の交流促進や人材派遣などを実施する

○福祉人材の養成

2004 (H16) 年度から「コミュニティソーシャルワーカー」を養成する

○高齢者生きがいづくり活動の支援

現行の高齢者就労的生きがいづくり活動支援事業のこれまでの取り組みを踏まえ、2005 (H17) 年度以降、府としての支援方を再構築する

○障害者のIT戦略サポート

2004 (H16) 年度から、「ユニバーサルデザイン社会」の実現に向け、「新障害者ITサポートC（仮称）」として整備を図る

○「地域健康福祉支援市町村総合補助」の創設

2005 (H17) 年度から、市町村が地域の实情に応じて、地域における健康福祉のセーフティネットづくりや地域福祉活動の支援など、高齢者、障害者、児童等に関するサービスや事業を自主性・独自性を発揮して展開できるよう、総合補助を実施する

